

入居者インタビュー

毎日が楽しい！
入居してよかった！



今回お話を伺った岡田尚子さん

昭和60年10月の大阪へゆうゆうの里へオープン当初からご入居されている岡田尚子さん（83歳）。今回は、外出先での思い出や日頃の楽しみをお聞きたいと思います。

入居はオープン前
20年の思い出が詰まっています

眼科医をされていたご主人の閉業に伴い、これからは夫婦で楽しくのんびりと過ごすということを考えた時、旅行が好きだったご夫婦にとって利便性の良い大阪へゆうゆうの里へ、入居を決めた一番の理由でした。二人の楽しみである旅行は、入居後も続きます。

二人で行った世界一周旅行は、大きな豪華客船・飛鳥で回られました。その時、船内で知り合った俳句の先生に俳句を教えてもらったそうです。その時に岡田さんが詠んだ俳句を先生に褒められたことがきっかけで、里から俳句の教室に通うほどです。

また、岡田さんの居室には、可愛らしい人形がたくさんあります。国内はもちろん、海外にもたくさん行かれていた岡田さんは各地で人形を集めることが大好きです。「初めての旅行先で可愛らしい衣装を着ていた人形を見つけて以来、旅先の思い出にもなるからと購入しています。国によって人形の表情や衣装が違っていたり、旅先の思い出にもなるから大好き！」と。思いつきの人形はその数100体にもなりました。

平成15年に最愛のご主人を亡くした時には、悲しく辛い思いをされましたが、「ご入居者の励ましや職員の温かさに触れ、また気分転換に旅行に行ったりしたことで乗り越えることができました」と。

今では自由に外出を楽しんでいます

京都の大好きな岡田さんは2カ月に一回、行きつけのフランス料理を食べに行かれます。

「そこのお店はね、すごく雰囲気がいいんですよ。流れている音楽も素敵でね。いつもカウンターで食べています。カウンターなら実際に料理をしているところが見れる」



各国で集めた大好きな人形の一部

るでしょう？テキパキ作っている料理人や、段々素敵な料理が出来上がっていく様子を見ていたら感動してしまうんです」と笑顔で語られました。

岡田さんは里で実施している秋の一泊ツアーや春の日帰りツアー、電車で行ける行事にもご参加されます。

「今年は東北で大震災もあり、涙を流して落ち込んでいたんです。電車で出かける水上バスツアーにも行っていいものかと迷いました。でも里の職員にこんな時こそ、参加して元気を出していきましょうと誘われて思い切って参加しました。落ち込んでいた私に声をかけていただいた職員の温かさを感じます。どんな時でも職員にそっと見守られる中で気ままに出かけられる私は幸せです」。

大阪へゆうゆうの里へご入居されてはや26年。たくさんさんの思い出と出会いをお持ちの岡田さん。これからも旅先での楽しいお話を聞かせてくださいね！



スイス カペル橋にて



京都 金閣寺にて